

2015 年度 北海道大学 前期 世界史

1 地中海の歴史

出題範囲	古代～近世の政治・外交・文化史
難易度	★★★★☆
所要時間	25 分
傾向と対策	ヨーロッパおよびイスラーム勢力について、幅広い時代にわたって問う問題。基本的な語句を答える問題が中心なので、確実に点数を稼ぎたい。問 2 や問 7 では教科書レベルの基礎的な知識について問われているが、知識があいまいだった人もいるかもしれない。この問題をよい機会として、関連する分野もあわせて復習しておこう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

解答

問 1 スエズ運河 ディオクレティアヌス コンスタンティノーブル
 プレヴェザ

問 2 英仏協商によってモロッコにおけるフランスの優越権が認められると、フランスはモロッコに進出した。ドイツのヴィルヘルム 2 世がこれに反発し、モロッコのタンジールに出向いて直接介入したが、その後のアルヘシラス会議でフランスの優位が認められた。(117 字)

問 3 (ア)帝国を東西に二分し、さらにそれぞれを正帝と副帝で統治するしくみ。(32 字)
(イ)唯一神を信仰するキリスト教徒が、皇帝を神聖視・崇拝することを拒否したため。(37 字)

問 4 (ア)ウラディミル 1 世 (イ)ギリシア正教

問 5 (ア)ガーナ王国 (イ)ムラービト朝 (ウ)マリ王国, ソンガイ王国 (エ)トンブクトゥ

問 6 (ア)ナスル朝 (イ)グラナダ (ウ)アルハンブラ宮殿

問 7 トルコ系のブルガール人は 7 世紀末にバルカン半島に建国すると、ギリシア正教を受け入れてスラヴ化した。そののち成立した第 1 次ブルガリア帝国は 11 世紀にビザンツ帝国の支配下に入ったが、12 世紀には第 2 次ブルガリア帝国が成立し、14 世紀末にオスマン帝国に征服されるまで続いた。(131 字)

問 1 難易度：★★★★☆

A

解答

A スエズ運河 B ディオクレティアヌス C コンスタンティノープル D プレヴェザ

解説

A 1869 年に開通し、地中海と紅海を結んだのはスエズ運河である。フランス人のレセップスが着工し、開通させた。

B ローマ帝国において四帝分治制（テトラルキア）を制定したのはディオクレティアヌス帝（在位 284～305 年）である。四帝分治制とは、帝国を東西に二分し、さらにそれぞれを正帝と副帝で統治するしくみ。また、ディオクレティアヌス帝は、軍人皇帝時代を終わらせ、ドミナトゥス（専制君主政）を始めた人物でもある。

C オスマン帝国のメフメト 2 世は、1453 年にコンスタンティノープルを陥落させ、ビザンツ帝国を滅ぼした。オスマン帝国はこれをイスタンブルと改称し首都とした。

D 1538 年のプレヴェザの海戦では、オスマン海軍がスペイン・ヴェネツィア・ローマ教皇の連合艦隊を破った。

問 2 難易度：★★★★☆

解答例

英仏協商によってモロッコにおけるフランスの優越権が認められると、フランスはモロッコに進出した。ドイツのヴィルヘルム 2 世がこれに反発し、モロッコのタンジールに出向いて直接介入したが、その後のアルヘシラス会議でフランスの優位が認められた。（117 字）

設問の要求

字数 約 16cm×3 行

主題 第 1 次モロッコ事件

条件 当時の国際関係を視野に入れる

解説

1905 年にタンジールで起こった第 1 次モロッコ事件は、モロッコをめぐるドイツとフランスの衝突事件である。1904 年に結ばれた英仏協商では、フランスのモロッコにおける優越権が認められた。これを受けてフランスはモロッコへの進出を図ったが、ドイツのヴィルヘルム 2 世の反発を招いた。ヴィルヘルム 2 世がモロッコに出向いて直接介入しようとした事件が第 1 次モロッコ事件である。この事件の背後にある国際関係としては、英仏の接近と独仏帝国主義の対立があるので、それを踏まえて記述すればよい。

問 3 難易度：★★★★☆

(ア)

解答例

帝国を東西に二分し、さらにそれぞれを正帝と副帝で統治するしくみ。(32 字)

設問の要求

字数 約 15cm×1 行

主題 四帝分治制（テトラルキア）の具体的内容

解説

四帝分治制とは、帝国を東西に二分し、さらにそれぞれを正帝と副帝で統治するしくみである。

(イ)

解答例

唯一神を信仰するキリスト教徒が、皇帝を神聖視・崇拝することを拒否したため。(37 字)

設問の要求

字数 約 15cm×1 行

主題 ディオクレティアヌス帝時代のキリスト教迫害の理由

解説

ディオクレティアヌス帝は、ローマ帝国史上最後のキリスト教徒大迫害を行った。その理由は、彼が皇帝崇拝を強制したことに対して、キリスト教徒が反発したからである。キリスト教徒はイエスを唯一神として信仰しているため、皇帝を神として崇拝する行為を拒否したのである。

問 4 難易度：★★★★☆

解答

(ア)ウラディミル 1 世 (イ)ギリシア正教

解説

キエフ公国のウラディミル 1 世は、ビザンツ帝国の皇帝バシレイオス 2 世の妹と結婚するとギリシア正教に改宗し、これを国教化した。

問 5 難易度：★★★★☆

解答

(ア)ガーナ王国 (イ)ムラービト朝 (ウ)マリ王国, ソンガイ王国 (エ)トンブクトゥ

解説

(ア) ガーナ王国は、7 世紀頃から 13 世紀半ば頃にかけて、ニジェール川流域で繁栄した国家である。自国で産出される金とムスリム商人の持ち込むサハラの岩塩を交換するサハラ縦断貿易を行った。

(イ) ガーナ王国は、ムラービト朝の攻撃を受けて衰退した。

(ウ) ガーナ王国の衰退後、同地にはムスリムの国であるマリ王国, ソンガイ王国が順に栄えた。マリ王国は 13～15 世紀頃にサハラ縦断貿易を行って繁栄した。マンサ＝ムーサ王のメッカ巡礼が有名である。15～16 世紀にはソンガイ王国が繁栄した。

(エ) マリ王国やソンガイ王国の時代、ニジェール川流域の**トンブクトゥ**が文化・学術などの中心地として繁栄した。この都市はイブン＝バットゥータの訪問も受けている。

問 6 難易度：★★★★☆

解答

(ア)ナスル朝 (イ)グラナダ (ウ)アルハンブラ宮殿

解説

ナスル朝はイベリア半島最後のイスラーム王朝である。首都は**グラナダ**。スペイン王国がグラナダを陥落させたことでナスル朝は滅亡し、**レコンキスタ**が完成した。グラナダに建てられたイスラーム建築の宮殿は**アルハンブラ宮殿**で、**アラベスク**模様で有名である。

問 7 難易度：★★★★☆

解答例

トルコ系のブルガール人は 7 世紀末にバルカン半島に建国すると、ギリシア正教を受け入れてスラヴ化した。そののち成立した第 1 次ブルガリア帝国は 11 世紀にビザンツ帝国の支配下に入ったが、12 世紀には第 2 次ブルガリア帝国が成立し、14 世紀末にオスマン帝国に征服されるまで続いた。(131 字)

設問の要求

字数 約 16cm×3 行

主題 バルカン半島における王国建国から 14 世紀末にオスマン帝国に征服されるまでのブルガール人の歴史

解説

ブルガール人は**トルコ系**の民族である。7 世紀末にバルカン半島に建国し、**ギリシア正教**を受け入れてスラヴ化し、定着した。そののち、第 1 次ブルガリア帝国が成立し、ビザンツ帝国に支配される 1018 年まで続いた。1187 年には第 2 次ブルガリア帝国が成立し、オスマン帝国に征服される 1393 年まで存続した。

(町田佳奈子，谷口昂輝，是永郁治)

2015 年度 北海道大学 前期 世界史

2 ローマ教皇の歴史

出題範囲	中世～現代の文化・外交・政治史
難易度	★★★★☆☆
所要時間	25 分
傾向と対策	11～20 世紀の、ローマ教皇に関連する事項について問う問題。ほぼすべての問題が入試で頻繁に問われるものなので、間違えたところはよく復習しておこう。特に問 5(ア)、問 6 については再度自分なりにまとめておくといよい。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

解答

- 問 1 (ア)クリュニー修道院 (イ)聖職売買 (シモニア)、聖職者の妻帯
- 問 2 教皇グレゴリウス 7 世が皇帝権に対する教皇権の優位を唱えて聖職叙任権を主張したことに対して、神聖ローマ皇帝ハインリヒ 4 世が反発したため。(67 字)
- 問 3 (ア)ロンバルディア同盟 (イ)ダンテ
- 問 4 ジョン王はフランスとの戦いに連敗してイギリスが大陸に持っていた領土の大半を失い、財政難に直面して重税を課した。貴族はこのような失政と専制に反発し、団結して王に大憲章を認めさせた。(89 字)
- 問 5 (ア)聖職者課税問題で仏王フィリップ 4 世は教皇ボニファティウス 8 世と対立しており、アナーニ事件で教皇を捕縛した。のちにフィリップ 4 世は教皇庁を南仏のアヴィニョンに移転させ、教皇を自らの支配下に置いた。1377 年に教皇庁はローマに帰還するが、アヴィニョンにも教皇が並立する事態となり、教皇権は失墜した。(145 字)
- (イ)コンスタンツ会議
- 問 6 聖像禁止令を出したビザンツ帝国との対立から政治的な保護者を求めていたローマ教皇は、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍を撃退したフランク王国に接近し、ピピンの国王即位を認めた。ピピンは返礼にランゴバルド王国を攻め、奪ったラヴェンナ地方を教皇に寄進した。(129 字)
- 問 7 イタリアはドイツ・オーストリアと三国同盟を結んでいたが、「未回収のイタリア」問題によりオーストリアとは不仲であったため、第一次世界大戦においては当初中立を宣言した。しかし大戦中にロンドン秘

密条約を結び、戦後に「未回収のイタリア」を割譲させることを条件として連合国側で参戦した。

(138 字)

問 8 (ア)ムッソリーニ (イ)ヴァチカン市国

問 1 難易度：★★★★☆

解答

(ア)クリュニー修道院 (イ)聖職売買 (シモニア)、聖職者の妻帯

解説

910 年に設立されたクリュニー修道院は、戒律や禁欲的生活を重視して修道院改革に着手した。教会改革運動を推進したグレゴリウス 7 世もクリュニー修道院の出身である。この時、教会の腐敗として問題とされた行為は、おもに聖職売買 (シモニア) と聖職者の妻帯であった。

問 2 難易度：★★★★☆

解答例

教皇グレゴリウス 7 世が皇帝権に対する教皇権の優位を唱えて聖職叙任権を主張したことに対して、神聖ローマ皇帝ハインリヒ 4 世が反発したため。(67 字)

設問の要求

字数 約 16cm×2 行

主題 教皇と神聖ローマ皇帝が対立するようになった理由

解説

教皇グレゴリウス 7 世は皇帝権に対する教皇権の優越を唱え、聖職叙任権 (大司教などの高位聖職者を任命する権限) を主張した。神聖ローマ皇帝ハインリヒ 4 世がこれに反発すると、教皇は彼を破門した。この対立を叙任権闘争という。1077 年にはカノッサで皇帝が教皇に謝罪した (カノッサの屈辱)。

問 3 難易度：★★★★☆

解答

(ア)ロンバルディア同盟 (イ)ダンテ

解説

(ア) ロンバルディア同盟は、神聖ローマ皇帝のイタリア政策に対抗するために北イタリアの諸都市が結成したものである。皇帝軍を破り、自治権を獲得した。

(イ) ダンテは、『神曲』で知られる詩人で、イタリアルネサンスの先駆者。フィレンツェの共和派貴族であったが、1302 年に教皇派 (ゲルフ) 内の対立によってフィレンツェを追放された。『神曲』はこうして放浪している間に書かれたものである。この問題は少し難しいかもしれないが、「14 世紀初頭」「フィレンツェ」「詩人」といった語句からダンテが想像できるとよい。

問 4 難易度：★★★★☆

解答例

ジョン王はフランスとの戦いに連敗してイギリスが大陸に持っていた領土の大半を失い、財政難に直面して重税を課した。貴族はこのような失政と専制に反発し、団結して王に大憲章を認めさせた。(89 字)

設問の要求

字数 約 16cm×2 行

主題 大憲章（マグナ＝カルタ）承認にいたる経緯

解説

イギリスのジョン王は、**プランタジネット朝**の創始者ヘンリ 2 世の子で、「欠地王（失地王）」ともよばれる人物。カンタベリ大司教の任免問題をめぐって**インノケンティウス 3 世**と対立し、破門された。またフランスとの戦いにおいて連敗し、**イギリスが大陸に持っていた領土の大半を失った**。財政難に直面して重税を課すなどの専制と失政によって貴族の反発を招き、**1215 年に大憲章（マグナ＝カルタ）**を認めさせられた。

問 5 難易度：★★★★☆

(ア)

解答例

聖職者課税問題で**仏王フィリップ 4 世**は教皇**ボニファティウス 8 世**と対立しており、**アナーニ事件**で教皇を捕縛した。のちにフィリップ 4 世は教皇庁を南仏の**アヴィニョン**に移転させ、教皇を自らの支配下に置いた。1377 年に教皇庁はローマに帰還するが、**アヴィニョン**にも教皇が並立する事態となり、教皇権は失墜した。(145 字)

設問の要求

字数 約 15cm×3 行

主題 教会大分裂にいたる教皇権の衰退課程

条件 14 世紀初頭にまでさかのぼる

解説

教皇権衰退にかかわる、14 世紀初頭から教会大分裂（1378 年）までの出来事としては、**1303 年のアナーニ事件**と 1309 年より続いた**教皇のバビロン捕囚**がある。アナーニ事件は、教皇**ボニファティウス 8 世**と**仏王フィリップ 4 世**が対立する中、教皇がフィリップ 4 世によってアナーニで捕縛された事件。この事件によるショックで、教皇は失意のうちに憤死した。教皇のバビロン捕囚は、フィリップ 4 世が教皇庁を南仏の**アヴィニョン**に強制移転させた事件。教会大分裂は、教皇庁がローマに帰還したのちに**アヴィニョン**でも教皇が擁立され、ローマと**アヴィニョン**の両教皇が互いに正統性を主張して対立したことを指す。

(イ)

解答

コンスタンツ公会議

解説

1414 年に始まった**コンスタンツ公会議**では、ローマの教皇が正統とされて教会大分裂が終結した。

問 6 難易度：★★★★☆

解答例

聖像禁止令を出したビザンツ帝国との対立から政治的な保護者を求めているローマ教皇は、トゥール・ポワティエ間の戦いでイスラーム軍を撃退したフランク王国に接近し、ピピンの国王即位を認めた。ピピンは返礼にランゴバルド王国を攻め、奪ったラヴェンナ地方を教皇に寄進した。(129 字)

設問の要求

字数 約 16cm×3 行

主題 ピピンの寄進の歴史的背景

解説

ピピンはフランク王国メロヴィング朝の宮宰カール＝マルテルの子である。カール＝マルテルはトゥール・ポワティエ間の戦いに勝利し、イスラーム軍から西欧キリスト教世界を守った。聖像禁止令などでビザンツ帝国と対立しており、政治的な保護者を求めているローマ教皇はフランク王国に接近し、カール＝マルテルの子であるピピンがフランク王位を継承することを認めた。これを受けてピピンはカロリング朝を開き、教皇への返礼として、ランゴバルド王国に侵攻して奪ったラヴェンナ地方を寄進した。この出来事を「ピピンの寄進」とよび、寄進された土地は教皇領の始まりとなった。

問 7 難易度：★★★★☆

解答例

イタリアはドイツ・オーストリアと三国同盟を結んでいたが、「未回収のイタリア」問題によりオーストリアとは不仲であったため、第一次世界大戦においては当初中立を宣言した。しかし大戦中にロンドン秘密条約を結び、戦後に「未回収のイタリア」を割譲させることを条件として連合国側で参戦した。(138 字)

設問の要求

字数 約 16cm×2 行

主題 第一次世界大戦へのイタリアのかかわり方

条件 「未回収のイタリア」に注目する

解説

「未回収のイタリア」とは、1870 年のイタリア統一後もオーストリア領にとどまった南チロル・トリエステなどのことを指す。ビスマルクの主導で 1882 年にドイツ・オーストリア・イタリアの間で三国同盟が結ばれたが、この「未回収のイタリア」問題によってイタリアとオーストリアは不仲であった。そのため、第一次世界大戦が始まってイタリアは同盟国側につくことはせず、当初中立を宣言した。しかし 1915 年にロンドン秘密条約を結び、戦後に「未回収のイタリア」を割譲させることを条件に連合国側で参戦した。

問 8 難易度：★★★★☆

解答

(ア)ムッソリーニ (イ)ヴァチカン市国

解説

イタリア統一の際に教皇領が占領されて以来、イタリアと教皇は対立関係にあった。1920 年代にイタリアで政権を握ったムッソリーニは、カトリック教徒の支持を得るためにラテラン（ラテラノ）条約によって教皇と和解した。このとき教皇庁はヴァチカン市国という独立国家として承認された。ヴァチカン市国は現在でも、世界最小の国家として存続している。

(町田佳奈子，谷口昂輝，是永郁治)

2015 年度 北海道大学 前期 世界史

③ アジアの民族運動

出題範囲	近代の外交・社会史
難易度	★★★★☆
所要時間	25 分
傾向と対策	清、ヴェトナム、インドと列強諸国の関係についての問題。どの国も西洋列強による進出を受けているが、当然その過程は国によって違うので、しっかりとおさえておく必要がある。特に戦争・講和条約とその内容の組み合わせなどは整理して頭に入れておきたい。レベルとしては基礎的な知識を問う問題が多かったので、確実に得点できるようにしよう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句や内容を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい年号を青字で記載した

解答

- 問 1 アロー 義和団 北京議定書 西山党 ピニョー 阮福暎
- 問 2 国内で茶の需要が高まり、イギリスは中国から大量に茶を輸入しなければならなくなった。しかしイギリス製綿製品は中国では売れなかったため、銀を用いて購入することとなり、銀の大量流出と貿易赤字が引き起こされていた。(103 字)
- 問 3 望厦条約（別解：黄埔条約）
- 問 4 仇教運動
- 問 5 米
- 問 6 フランスはユエ条約によってヴェトナムを保護国化したが、これに対して清が宗主権を主張して反発したことにより、清仏戦争が起こった。フランス優勢のもとで天津条約が結ばれ、清は宗主権を放棄し、フランスがヴェトナムを保護国化した。(110 字)
- 問 7 シク戦争
- 問 8 ザミンダーリー制は領主に土地所有権を認めるかわりに地稅導入の義務を課す制度。ライヤットワーリー制は農民に土地所有権を認め、彼らから直接徴税する制度。(74 字)
- 問 9 シパーヒーの乱を鎮圧しつつムガル帝国を滅ぼし、東インド会社を解散して本国による直接統治を開始した。その後、ヴィクトリア女王を皇帝としてインド帝国を成立させた。(79 字)

問1 難易度：★★★★☆

解答

A アロー B 義和団 C 北京議定書 D 西山党 E ピニョー F 阮福暎

解説

A アロー戦争（1856～60年）は清とイギリス・フランスの戦争である。イギリス船籍のアロー号に乗っていた中国人船員が清朝官僚により逮捕されたアロー号事件と、フランス人宣教師が清朝官僚に殺害された事件を口実として、イギリスとフランスが清に共同出兵した。戦争中の1858年に天津条約が結ばれ、1860年に講和条約として北京条約が結ばれた。戦争中に円明園が破壊されたことも有名である。

B 義和団は山東省を拠点とする白蓮教系の宗教結社である。「扶清滅洋」（清を扶けて外国を滅ぼす）を掲げて排外運動を行った。本文中の「1900年に大勢力となって北京に入る」は義和団事件を表している。

C 義和団事件の際、清朝は列強に宣戦し、日本・ロシアなど8カ国が共同出兵して義和団と清朝を破った。1901年に清と列強諸国の間の北京議定書によって講和条件が定められた。内容として重要なのは賠償金の支払い、外国軍の北京駐兵を認めたことである。これによって清は独立国とはいえないような状況に立たされた。

D 西山党の乱（1773～1802年）は、ヴェトナムで黎朝が衰退する中で起こった反乱である。西山党阮氏とよばれる人々が黎朝を滅ぼして西山朝を建てたが、阮福暎に滅ぼされた。

E 1802年のヴェトナム統一を支援したフランス人宣教師の名前はピニョーである。

F 1802年にヴェトナムを統一した人物は阮福暎である。阮福暎は西山朝を滅ぼしてヴェトナム全土を統一し、阮朝を建てた。

問2 難易度：★★★★☆

解答例

国内で茶の需要が高まり、イギリスは中国から大量に茶を輸入しなければならなくなった。しかしイギリス製綿製品は中国では売れなかったため、銀を用いて購入することとなり、銀の大量流出と貿易赤字が引き起こされていた。(103字)

設問の要求

字数 約16cm×2行

主題 当時（18世紀～19世紀前半）のイギリスが直面していた貿易上の問題

解説

この問題では、問題文にもあるようなアヘンの輸出やアヘン戦争の原因となった貿易上の困難を答えればよい。それは、片貿易とよばれる貿易状況である。中国は絹織物で有名なことから想像できるように、イギリス産の綿織物を必要としなかったが、一方のイギリスでは中国産の茶の需要が高まっていた。そのため中国からイギリスへは茶が、イギリスから中国へは銀が運ばれて、イギリスの輸入超過状態になっていたのである。この問題を解決するために始まったのがアヘンの輸出による三角貿易で、インド産アヘンを中国へ、中国産の茶をイギリスへ、イギリス製綿製品をインドへ運ぶというものである。アヘンは中毒性を持ち、清朝では禁止されていたにも

かかわらず、これが国内で広まったことに清朝官僚の林則徐が反発した。彼がアヘンを没収して廃棄し、アヘン貿易を厳禁したことを契機としてアヘン戦争が起こった。

問3 難易度：★★★★☆

解答

望厦条約（別解：黄埔条約）

解説

アヘン戦争後に結ばれた、清と欧米諸国の間の不平等条約としておさえておきたいのが^{ぼうか}望厦条約と^{こうほ}黄埔条約である。望厦条約は清とアメリカの間で 1844 年に結ばれた修好通商条約である。黄埔条約（1844 年）は、清とフランスの間の修好通商条約。どちらも南京条約と同様に最恵国待遇や領事裁判権を清に認めさせている点で不平等条約といえる。

ちなみに最恵国待遇とは、条約締結国の一方が別の国に対して特権を与えた場合は、その特権を他方の締結国にも与えなければならないというもの。片務的最恵国待遇とは、この義務が締結国の一方にのみ課されている場合のことを指す。

問4 難易度：★★★★☆

解答

仇教運動

解説

19 世紀後半の中国で起こった、反キリスト教運動を仇教運動という。国内でのキリスト教布教は 1860 年の北京条約で認められたが、それ以降中国民衆は布教に反発し、宣教師殺害などの事件を起こした。

問5 難易度：★★★★☆

解答

米

解説

フランスがヴェトナムで行ったプランテーション経営における生産物は米であった。東南アジアではこのようなプランテーションが増加し、欧米に依存するモノカルチャー経済へと移行した。

問6 難易度：★★★★☆

解答例

フランスはユエ条約によってヴェトナムを保護国化したが、これに対して清が宗主権を主張して反発したことにより、清仏戦争が起こった。フランス優勢のもとで天津条約が結ばれ、清は宗主権を放棄してフランスがヴェトナムを保護国化した。(110 字)

設問の要求

字数 約 16cm×3 行

主題 清仏戦争の原因と結果**解説**

清仏戦争（1884～85 年）は、ヴェトナムをめぐる清とフランスの戦争である。フランスはユエ条約を結んでヴェトナムを保護国化しようとしており、それに対して清はヴェトナムの**宗主権**を主張していた。宗主権とは宗主国が保護国に対してもつさまざまな権限で、一般的には外交権・軍事権などである。このような状況下で清仏戦争が起こり、フランスの優勢が続いた。清仏戦争の講和条約は天津条約で、**清が宗主権を放棄してフランスがヴェトナムを保護国化**することが決まった。

問 7 難易度：★★★★☆**解答****シク戦争****解説**

シク戦争（1845～46 年，1848～49 年）は、イギリスとシク教徒の戦いである。シク教徒はパンジャブ地方に広がっており、シク教徒に勝利したイギリスは**パンジャブ地方を併合**した。

問 8 難易度：★★★★☆**解答例**

ザミンダーリー制は領主に土地所有権を認めるかわりに地稅導入の義務を課す制度。ライヤットワリー制は農民に土地所有権を認め、彼らから直接徴税する制度。（74 字）

設問の要求

字数 約 16cm×3 行

主題 イギリスが 18 世紀末からインドで導入した徴税制度のうち、主要な 2 つの特徴

条件 それぞれの名称を挙げる

解説

イギリスがインドで実施した徴税制度としておもなものは、**ザミンダーリー制**と**ライヤットワリー制**である。2 つの制度の違いは、誰を納税者（土地所有者）とするかという点にある。ザミンダーリー制はその土地の伝統的な**領主**（ザミンダール）の土地所有権を認めて、地稅を納めさせた。ライヤットワリー制は**農民**の土地所有権を認めて、農民に直接課税した。ザミンダーリー制はベンガル管区などのインド北東部で、ライヤットワリー制はマドラス・ボンベイ管区などの南インドで実施された。

問 9 難易度：★★★★☆**解答例**

シパーヒーの乱を鎮圧しつつムガル帝国を滅ぼし、東インド会社を解散して本国による直接統治を開始した。その後、**ヴィクトリア女王**を皇帝としてインド帝国を成立させた。（79 字）

設問の要求

字数 約 16cm×2 行

主題 1857 年以後のイギリスによるインド支配の再編成

解説

1857 年に起こった大規模な反英反乱とはシパーヒーの乱である。シパーヒーの乱は、メーラトのシパーヒー軍団の武装蜂起によって始まったが、そののちムガル皇帝を擁立し、インド全体を巻き込む大規模な反英反乱となっていた。この問題では、シパーヒーの乱以降のイギリスのインド支配について問われている。まず、1858 年にイギリスは反乱を鎮圧してムガル帝国を滅亡させた。同年、それまでインド支配を担ってきた東インド会社を解散させ、イギリスによる直接統治を開始した。1877 年にはヴィクトリア女王を皇帝とするインド帝国を成立させた。ちなみに、この時のイギリス首相は保守党のディズレーリである。

(町田佳奈子, 林遼河, 是永郁治)